

令和5年6月12日～6月18日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和5年度第7報)

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

6月12日～6月18日の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、12、15、16日に「注意」を示す21以上25未満となり、13、14、17、18日に「警戒」を示す25以上28未満となりました。

6都市の10年間平均値と比較すると、暑さ指数(WBGT)は10年間平均値より常に高くなり、特に6月13日は3程度、17日は2程度高くなりました(図1、表1参照)。

11都市(注2)では、全て「警戒」を示す25以上になる日があり、東京、名古屋、那覇では「厳重警戒」を示す28以上になる日がありました(表1、表2参照)。

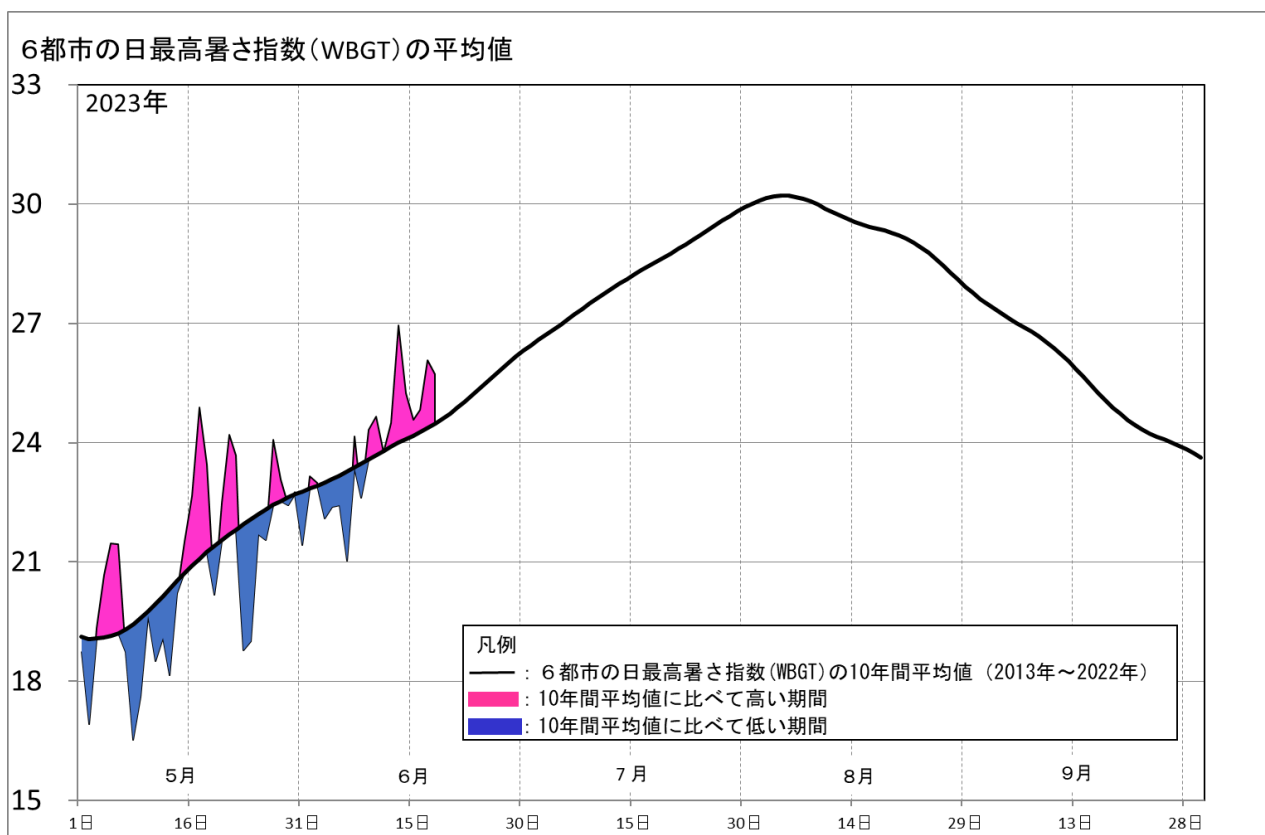


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(6月12日～6月18日)(注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
12	23.0	23.2	24.7	21.9	23.6	24.0	25.8	24.1	27.0	26.5	28.1	24.5
13	19.4	25.7	25.9	27.6	28.0	27.0	25.8	27.3	27.4	27.4	27.9	27.0
14	21.7	22.6	24.9	24.7	26.7	25.9	24.0	24.7	25.2	26.4	26.1	25.2
15	24.1	21.3	22.7	23.6	24.8	24.1	25.0	25.8	27.2	26.6	28.0	24.6
16	24.5	20.9	22.6	26.3	25.1	24.6	23.8	25.6	26.6	26.2	28.9	24.8
17	25.0	27.0	24.4	27.9	25.7	26.2	24.5	26.7	27.8	23.0	27.6	26.1
18	18.1	27.3	25.1	28.6	25.6	25.0	23.9	24.1	26.1	21.8	29.7	25.7

注1 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

注2 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 表1、表2の値は速報値であり、年度末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の6月12日～6月18日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28以上	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	12
25以上	1	12	4	29	23	13	5	21	37	30	125

ほぼ安全	注意	警戒	厳重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

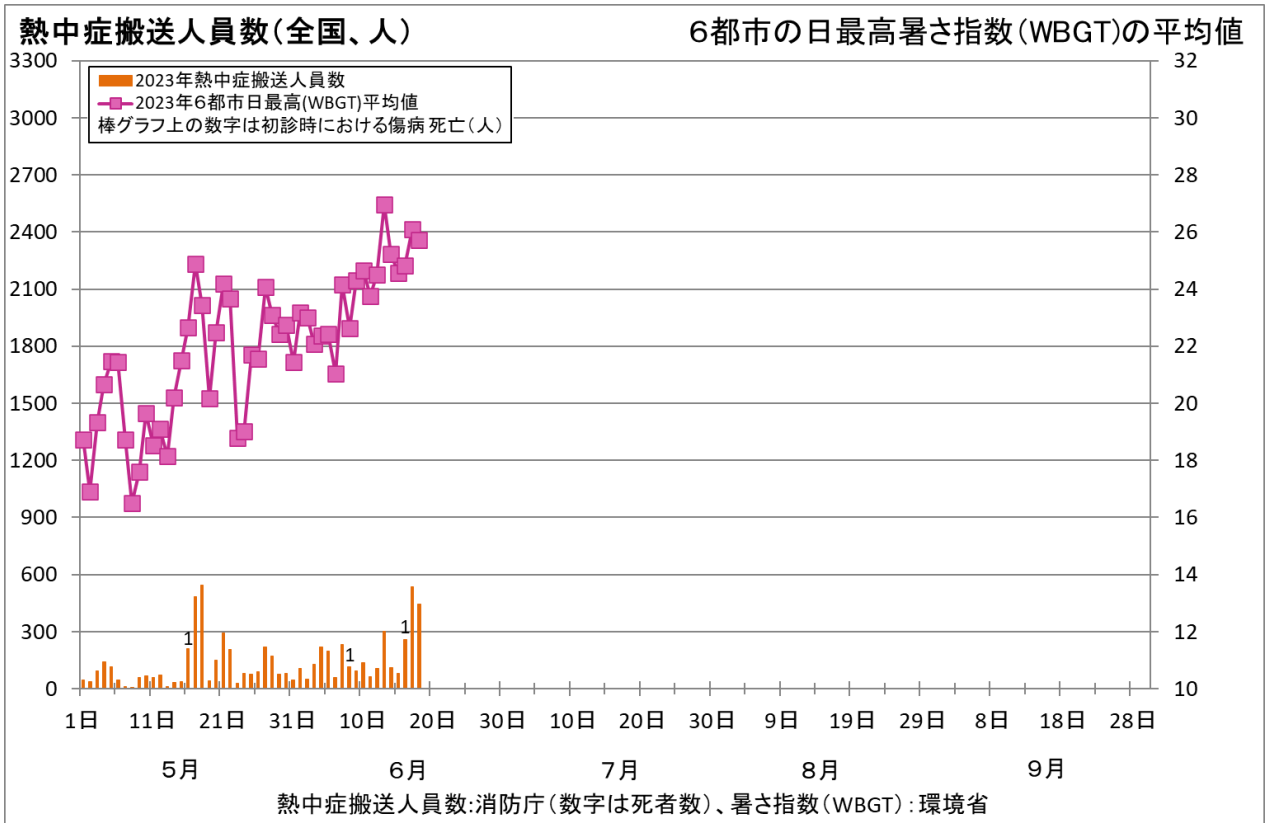


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、多い日が6月17日の535人、18日の446人で、6月12日～6月18日の総数は1,843人(死者1名含む)となりました(図2)。

3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

6月12日～6月18日の間、熱中症警戒アラートの発表はありませんでした。（表3）。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（6月12日～6月18日）

地方 ^{※1}	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均 ^{※2}	0	0	0	0	0	0
のべ回数	0	0	0	0	0	0
地方 ^{※1}	中国	四国	九州北部 ^{※3}	九州南部・奄美	沖縄	
域内平均 ^{※2}	0	0	0	0	0	
のべ回数	0	0	0	0	0	

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」

回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

4. 今後の見通し(6/21 14:30時点)

6月23日までは、全国で「警戒」を示す25以上に、東海地方以南で「厳重警戒」を示す28以上に、沖縄地方で「危険」を示す31以上になる地点がある見込みです。

気象庁の2週間気温予報（6月21日発表、6月22日～7月3日）によると、「北日本の気温は、向こう4日間程度は平年並か高い日が多いでしょう。その後は暖かい空気に覆われるため高く、27日頃からはかなり高くなる日も多いでしょう。農作物の管理等に注意するとともに、熱中症対策など健康管理に注意してください。

東日本の気温は、向こう2日間程度は平年並か低いでしょう。その後は暖かい空気に覆われるため高く、27日頃からはかなり高くなる所もあるでしょう。農作物の管理等に注意するとともに、熱中症対策など健康管理に注意してください。

西日本の気温は、向こう1週間程度は平年並か高い日が多いでしょう。その後は暖かい空気に覆われるため高い日が多く、かなり高くなる所もあるでしょう。農作物の管理等に注意するとともに、熱中症対策など健康管理に注意してください。

沖縄・奄美の気温は、向こう4日間程度は平年並か低いでしょう。その後は、平年並か高いでしょう。熱中症対策など健康管理に注意してください。」となっております。

（参照：2週間気温予報 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/twoweek/?fuk=1>）

別図：気象庁の地方予報区・府県予報区の区分について（気象庁提供図を補足）

北海道										宗谷						
上川・留萌						網走・北見・紋別										
石狩・空知・後志				十勝		釧路・根室										
胆振・日高																
渡島・檜山																
										青森						
										秋田		岩手				
										山形		宮城				
										石川		富山	新潟	福島		
										福井		岐阜	長野	群馬	栃木	茨城
										山梨		埼玉	東京	千葉		
										滋賀		三重	愛知	静岡	神奈川	
										京都		大阪	奈良	和歌山		
										兵庫						
										鳥取						
										島根						
										山口						
										岡山						
										広島						
										愛媛						
										香川						
										高知						
										徳島						
										九州北部						
										福岡						
										佐賀						
										熊本						
										大分						
										宮崎						
										鹿児島						
										奄美						
										九州南部						
										鹿儿岛						
										沖縄						
										沖縄本島						
										八重山						
										宮古島						
										大東島						